

鴨川下流域整備を考えるシンポジウムの開催結果について

鴨川下流域における公共空間整備について、これまでの鴨川府民会議における議論を踏まえた基本プランを作成し、去る3月21日シンポジウムを開催して、府民への周知を図るとともに、幅広く意見聴取したところ、その結果は下記のとおりでした。

1 府民からの意見の概要

▼ シンポジウムやホームページ等で寄せられた意見総数 32件

<プランの内容に関わる意見>

- | | |
|---------------------------------|----|
| ○自然環境に配慮して、憩える、寛げる、水に親しめる整備を | 9件 |
| ○利用者は沿川の住民であり、地域等の意見を十分に聞くべき | 7件 |
| ○地域の文化・歴史と連携した整備内容、鴨川の在り方も考慮すべき | 7件 |
| ○安心安全を第一に考えた公共空間整備を求める | 3件 |
| ○その他（性急な整備はやめるべき、市民農園、目標を持って） | 3件 |

<プラン以外の要望>

- | | |
|-----------------------------|----|
| ○ホームレスの解消、草刈り回数の追加、自転車通行制限等 | 3件 |
|-----------------------------|----|

2 開催結果

鴨川下流の地域や住民の意見を十分に聞きながら、自然環境の保全や利用者が憩い・集える河川公共空間を創出していく拠点箇所等の整備に対する基本的な考え方について理解が得られた。

3 これからの進め方

今後、この基本プランで掲げた拠点整備箇所について、地域や住民のニーズを聞くために、ワークショップなどを開催して、計画段階から地域住民と連携協働して詳細設計を実施していく。

<別添「鴨川下流域整備基本プラン」のリーフレット参照>

▼公共空間整備の基本的な考え方

- ①高水敷整備（ジョギング・遊歩道の整備による連続化と利用促進）
- ②季節や自然を身近に感じる河川空間を創出する拠点箇所の整備

▼拠点整備箇所の整備イメージ

鴨川下流域整備基本プランに対する意見について

【プランの内容に関わる意見】

《自然環境に配慮して、憩える、寛げる、水に親しめる整備を》 9件

- ・ 豊かな自然を最大限に活かした整備を進めて欲しい。
- ・ 下流の整備は、上流に比べて遅れている。自然環境に配慮し、憩える整備を考えたい。
- ・ 東屋、ビオトープ、花壇等を作り、公園化して皆が楽しめる場所にしてはどうか。
- ・ 堤防上に木を植え、車の通行を禁止し、歩行者がゆっくり寛げ、愉しめる場所にする。
- ・ 下流域整備にあたり、下流域に担当事務所を置かなければ地域の声は届かないのではないかと。
- ・ 高水敷の芝生緑化は疑問。ツメクサの方が花輪作りなど楽しめて良いのではないかと。自然な水際の整備も工夫してほしい。
- ・ 水辺で遊べるようにして欲しい。セーヌ川河畔のような風景を鴨川で実現できれば有難い。
- ・ 鴨川の水は、都市河川としてはかなりきれいだと思う。ホテルでも育ててみたらどうか。
- ・ 中州を除去することにより、鳥類の留まる場所や風情が無くなる。

《利用者は沿川の住民であり、地域等の意見を十分に聞くべき》 7件

- ・ 下流域は中流域と違い、地域の方が主に利用されるため、地域にとっての意見を尊重すべき。
- ・ 地域にとっての愛着を高めるため、地域の記念植樹スポットの確保してほしい。
- ・ 不法投棄問題は、地域が強い関心を持ち、投棄しにくい環境づくりをすることが大切と思う。
- ・ 地域の方から河川愛護推進員を任命してほしい。
- ・ 整備をどう進めるのか見えない。工事内容の提供等、沿川に開かれた整備であってほしい。
- ・ 地域のニーズを推すため、大規模なアンケートを行ってほしい。
- ・ 五条から下流の整備してほしい。

《安心安全を第一に考えた公共空間整備を求める》 3件

- ・ 第一に安心安全の確保
- ・ 増水時に逃げられるようにしてほしい。また、浸水危険箇所には、増水予想等の表示を希望する。
- ・ 水質を監視出来るようにし、水を汚す行為に対し、的確な処置や対策がとれるよう、鴨川条例の見直しをする。

《地域の文化・歴史と連携した整備内容、鴨川の在り方も考慮すべき》 7件

- ・ 整備計画に地域の文化的・歴史的視点が欠けている。
- ・ 下流域について、もっと特色あるものがないのかが素直な感想。府の計画は、他の川とあまり変化が無いので面白味が無い。
- ・ 都市河川の課題を共有し、また、全国に鴨川の魅力を発信していくために、全国都市河川サミットを開催してほしい。
- ・ 中州が拡大して水が見えない。岸边だけでなく、水の流れの整備についても御願いたい。
- ・ パネリストの皆様方の活動について、感心して聞かせていただいた。金田氏の説明が大変素晴らしく、今後、責任重大なことを決めていくのだと感じました。
- ・ 河川敷がイベント会場にならないようにしてほしい。
- ・ 次世代の子供たちのためにグラウンド整備も希望する。

《その他(性急な整備はやめるべき、市民農園、目標を持って》 3件

- ・ 上・中・下流域にわけ、開発状況、過程、当面・中期的目標等を明確にする必要がある。
- ・ 河川敷で貸し農園、市民農園などの整備も考えてはどうか。
- ・ 長い歴史の中で文化と一緒に育まれてきた下流域の整備は、ゆっくりとやるべき。現在の担当者たちが性急にやるべきではない。整備は骨格のみとし、後は後世の人にまかせるべき。

【プラン以外の要望】**《ホームレスの解消、草刈り回数の追加、自転車通行制限等》 3件**

- ・ 夏草が生い茂る前に刈り取ってほしい。年2回だけの草刈りは少ない。
- ・ ホームレス問題について、ぜひ検討願いたい。
- ・ 自転車通行不可にしてほしい。